

R4年度 モコ山崎保育園 園評価

保護者アンケートより

安心して預けられると言ってもらえた事はとても良かったと感じる。

毎日の送迎や、連絡ノートでのやり取りで子ども達に丁寧に向き合っていて伝えていたことが保護者にも伝わっていたと思うので、引き続き大事にしていく。

今年度は全国で保育園での事故が多かったこともあり、園内でもその都度研修や話し合いを行っていたが、それを保護者にまで発信できていなかった。今後はおたより等を使って保育園で実施していく内容を知らせていく。また、おたよりで子どもの成長を主体性のコーナーで伝えていたが、今後はもっと玄関掲示等を使いながら発信を増やし、園の保育に興味を持って貰えるように工夫していく。

職員評価より

今年度、「応答的な対応」「折り合いをつけられるようになる」を意識して保育を行ってきた。

前年度まで「主体的」の言葉の意味を保育士間で共有しきれていなかった部分もなくなるよう主体性を考える研修を行ったりもしてきた。主体的に囚われて子どもの思う通りに動いてしまう、または良い悪いの線引きが曖昧になっていってしまう事はほとんど無くなり、子どもの「やりたい！」の気持ちに丁寧に応える事、叶わない事、出来ない事に対しても「やりたかったね。でも、〇〇だからこうしてみる？」等、出来ない事を伝えるだけでなく、ではどうしようか？までを一緒に考えたり伝えて行けるようになった。

また、応答的を意識したことで子ども達のそのままの声でなく、言葉に出来ない本当にやりたかった事を考えるようになったことで言葉かけが増え、一緒に考える事が増えたのは良い部分だが、言葉をかけ過ぎる場面が増えてしまった。子どもの思いを先回りし過ぎて子どもの「伝える」場面を奪ってしまう事もあるので、反省点だった。遊びの部分では、それぞれに遊べる環境を考えてもらったが、時間に追われて子ども達の遊びの転換に保育士側の準備が間に合わなかったり、発達とずれてしまう期間が出来てしまったりした。

来年度は遊びこむための環境までを考えて環境設定、また子どものつばやきを平っていけるように保育できるようになっていきたい。

園総合評価

前年度の反省から上がっていた主体的の取り違えや、子どもの思いを聞き過ぎて良い悪いの線引きが曖昧になってしまっていた部分は、大分改善してきたので良かった部分もある。しかし、そこに力を注ぎ過ぎて子どもたちが遊びこむ為の環境への意識の向上、保護者へ保育に対する理解を深めるための発信がもっと必要だったと感じている。また、研修として子ども達の育っている力や、今後の遊びの展開を考える事をしてきたが、そこは継続しながら研修としてやってきたものを保護者にまで発信できるようにしていき、保護者の皆様にもっと園の保育に関心を持って貰えるように工夫していきたい。